

平成30年2月20日 新幹線・総合交通体系対策特別委員会 開催状況

開催年月日 平成30年2月20日

質問者 公明党 吉井 透 委員

担当部課 総合政策部空港運営戦略推進室

質問要旨	答弁要旨
<p>一 道内7空港の一括民間委託について</p> <p>この度、道内7空港の一括民間委託に関する実施方針の基本的事項が、国土交通大臣、知事、旭川と帯広両市長の4管理者トップの間で合意され、その内容が公表されたことにより、本道の一括民間委託の大枠が示されたものと考えております。</p> <p>この度の合意に至った背景なども含めて、実施方針の基本的事項について、以下3点ほどお伺いします。</p> <p>(一) 空港運営の開始時期について</p> <p>本道の空港民間委託は、同一の事業者が7空港の一体的運営を行う一括民間委託であることから、その運営開始についても同時期に一括してスタートするものと考えているところでありますが、この度、4管理者間では、順次段階的に運営を開始とすることが合意されたとのことであります。</p> <p>これについて、どのような背景や理由などから、こうした時間差のある開始時期となったのかお伺いします。</p> <p>(二) 審査体制について</p> <p>運営権者の選定において、道をはじめ地方空港の3管理者は、審査・評価を国が設置する審査委員会に委嘱することで合意したということでもありますけれども、なぜこのような審査の仕組みとなったのか重ねてお伺いします。</p>	<p>[薬袋空港運営戦略推進室参事]</p> <p>空港運営の開始時期についてでございますが、この度の道内空港の民間委託は、国、道、旭川市、帯広市と管理者が異なる複数空港を一括して委託するという前例のない民間委託でありますことから、基本スキーム(案)において、運営事業の段階的な開始を検討しているとお示したところでございます。</p> <p>マーケットサウンディングにおいて、参加を検討している事業者から、大規模空港から段階的に開始したいという多くの意見が寄せられたことを踏まえ、準備や引継期間を確保し、安全かつ円滑な民間による運営の移行を図るため、4管理者で協議の上、7空港の運営を段階的に開始することとしたところでございます。</p> <p>[薬袋空港運営戦略推進室参事]</p> <p>運営権者選定の審査方式についてでございますが、今般の道内空港の民間委託は、民間委託の対象となる7空港の一体的運営を実現し、道内航空ネットワークの充実強化などを図ろうとするものでございます。</p> <p>こうしたことから、道としては、「北海道発の提案」などにおいて、運営の一体性の確保や入札参加事業者の負担軽減が確保されるよう求めてきたところでございます。</p> <p>審査にあたっては、4管理者が同一事業者を選定できるよう管理者共通の審査委員会を国が代表して設置し、提案内容の審査・評価を実施し、その審査結果をもって、各管理者が同一の事業者を優先交渉権者に決定する方式としたところでございます。</p> <p>道といたしましては、審査において、地域の意思が反映される仕組みとする必要があると考えており、関係自治体とも十分協議し、審査の仕組みを構築してまいりたいと考えております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三)今後の道の取組について</p> <p>これで最後の質問になりますが、ただ今、平成32年度内の民間委託の開始に向けた今後のスケジュールについて、報告をいただいたところでありますけれども、この度の4管理者間での合意を踏まえて、道内7空港の一括民間委託の実現に向けた今後の取組について、道のお考えを伺います。</p>	<p>〔釧空港戦略推進監〕</p> <p>7空港の一括民間委託に向けた取組についてでございますが、今後、予定している3月の実施方針の策定・公表、4月の募集要項の策定・公表、その後の審査プロセスなどの具体的な制度設計等につきましても、4管理者が一体となって取り組むとともに、地元自治体をはじめとする関係者の理解を得ながら、今回合意したスケジュールを着実に進めてまいりる考えでございます。</p> <p>道といたしましては、こうした取組により道内7空港の一括民間委託の円滑な実現を図り、道内航空ネットワークの充実強化により、道内外との人流・物流を拡大し、広域観光の振興や北海道全体の活性化につなげてまいりたいと考えております。</p>